

# 第52回 伝統工芸 日本金工展

2024年5月18日(土) ▶ 6月29日(土)

開館時間：午前10時～午後5時（入館は4時30分まで）

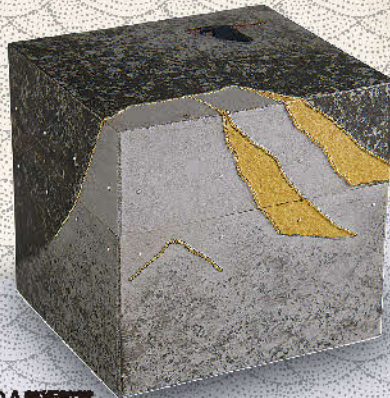
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館）

入館料：一般500円／学生300円

小学生以下(要引率者)、65歳以上の方、  
障害者手帳をお持ちの方は無料。



朝日新聞社賞  
たんぽぽどうりぼりぼり「角」  
鉄黄銅切嵌花瓶「horned melon」  
みやまきみずと  
宮崎瑞士



MOA美術館賞  
さうざんじこぼた「土のかけ」  
羅銀地小匣「西の方」  
おくのこころ  
奥村公規



石浜美術館賞  
やうざんじこぼた「かけ玉」  
象嵌花瓶「架」  
むらかみこうどう  
村上浩堂



宗桂会賞  
なみんかきおゆねこうろ  
波文重ね金香炉  
あらいせいせいの  
浅井盛任



佐野市長賞  
さのせいどうかき「さうこう」  
鍍青銅花瓶「陽光」  
にしゆりせう  
西由三



文部科学大臣賞  
しどうせり「ふゆ」  
朱銅盛器「吹」  
あつもとやすよし  
松本育祥



東京都教育委員会賞  
はろわいん「おかし」  
Halloweenの釜  
はんにっす  
殺者佐伎

主催：公益社団法人日本工芸会 公益財団法人美術工芸振興佐藤基金  
後援：文化庁 東京都教育委員会 朝日新聞社 公益財団法人宗桂会  
MOA美術館 足立区 足立区教育委員会 佐野市  
公益社団法人足立法人会

石洞美術館  
SEKIDO MUSEUM OF ART

お問い合わせ：TEL.03-3888-7520、(財団)03-3888-7512  
URL <https://sekido-museum.jp/>  
〒120-0038 東京都足立区千住横戸町23番地

# 第52回 伝統工芸 日本金工展

## 列品解説

- 6月2日(日) 14時から  
飛川廣子 (東京藝術大学大学美術館館長)
- 6月9日(日) 14時30分から  
村上隆 (高岡市美術館館長)

日本における金属工芸の伝統は古く、弥生時代には朝鮮半島から青銅器および鉄器とその製作技術が伝わり、早くも銅鐸など日本独特の金属器を製作しています。

その製作方法、技術は時代の影響を受けながらも連続と受け継がれ、今日に至っています。

伝統工芸日本金工展は、このように我が国に古くから伝えられている鑄金、鍛金、彫金等の金属工芸の保存と発展を願って現代の生活に即した作品を創り、広く一般の方々に鑑賞して頂くとともに、批評を仰ぐことを目的として開催され、今回で52回を数えます。

様々な素材から様々な技術によって制作された115点の作品により、伝統的な金属工芸の美しさ、楽しさを味わって頂きたいと思います。



日本工芸会賞  
てつぽん「あやめとあまてんとくむし」  
鉄瓶「Apple&テントウムシ」  
あまけい  
江田薫



新人賞  
ほうこぶぬのゆでうがんとくげもんどうぼこ  
彫込布目象嵌木権文銅箱  
かわいりな  
川合里奈



新人賞  
まなやまのたふしむけかき  
真土焼型吹分花器「小望月」  
ふじさわやすはる  
藤澤康晴



足立区歴史財団賞  
あやとうりあやめとあまてんとくむし  
黄銅古鑑文象嵌香合  
にしやまご  
西山徹



21+金工部会賞  
どうたんきん「あくどろ」  
銅鍛金「悪童」  
あかむらたつ  
坂口美月



石洞美術館  
SEKIDO MUSEUM OF ART

## ■交通機関

- 京成線「千住大橋」駅より徒歩3分
  - 「北千住」駅西口よりコミュニティバス「はるかぜ5号(北千住駅西側地域循環)」にて千住大橋駅まで7分、下車後徒歩3分
- ※駐車場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

お知らせ

昭和に活躍した現代陶芸家(仮)  
2024年9月1日(日)～11月30日(土)

〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地  
TEL. 03-3888-7520 URL. <https://sekido-museum.jp/>

